

平成 28 年度 児童養護施設四恩学園・四恩たまみず園事業報告

1. 総 括

28年度目標として（1）学力向上を図る（2）子どもの命と人権を守り育む（3）安心安全な環境づくり（4）施設・職員の組織再編成強化（5）小規模化・家庭的養護の推進を掲げ、学力向上の取り組みの継続、セカンドステップやCSP等を活用し暴力の防止、養育単位の小規模化、生活環境の整備、地域や学校園との連携に努め、安定した施設運営を行ってきました。また法人全体で取り組んできた中期経営計画において3年後の施設経営について検討し描くことができました。

（1）については学習ボランティアによる個別学習と通塾による能力向上

1. 14名（H29.3.31 現在）の学習ボランティアの方々の支援を得て、小学生・中学生の基礎学力の向上を図ってきました。学習習慣の獲得につながっているが、児童個々の学力や個性等について、施設職員と学習ボランティアの細かな連携・情報の共有が必要です
2. 高校進学に向けた通塾により中学3年生全員第1希望校へ進学しました。
公立高校8名 私立高校1名
3. 定期的に進路応援会議を開き高校進学やこども一人一人にあった進路（特別支援学級・特別支援学校含む）を検討しました。

（2）については新規入所児のアセスメント会議、進路、家庭復帰、措置変更等重要な変更がある時にケース会議を施設長、統括主任、FSW、里親支援専門相談員、心理職員、現場職員等で開催した。また逸脱行為の事案に対し主任会の後開催しました。意見箱の設置や児童自治会の開催により子どもたちの意見を聞けるよう努めました。

（3）については施設整備と各委員会活動を行いました

1. 施設整備

- ①四恩学園3階女子Aチーム居室エアコン設置
- ②四恩学園2階男子グループカーペット張り替え
- ③四恩学園3階女子浴室の改修

2. こどもの安心安全な生活を確保する為に委員会（定期開催）で検討しました。

- ①研修委員会②リセット委員会③気持ちホット委員会④援助技術委員会
- ⑤アフターケア委員会⑥学力向上委員会⑦夢プロジェクト（委員会）

（4）については従来の職員会議・指導員会議・主任会・ケース会議・応援会議の充実

と法人全体で取り組んだ中期経営計画会議により法人の理念に基づく3年後の児童養護施設の在り様を描きました。

人材育成については内部研修（新任研修・合同職員研修・階層別研修等）及び外部研修参加によりスキルアップをはかり援助の質を高めるため取り組みました。人材確保と働き方、それぞれの職種の役割分担とチームケアが今後の課題であります。

- (5) については引き続き小規模化・家庭的養育を推進してきました。また実践する中での課題の整理をするために「小規模委員会」を定期的に開催しました。また、地域小規模児童養護施設用の物件を購入し、平成31年開設に向け改装、改築を行い、物件の特長を生かした活用を検討しました。

「児童虐待」「こどもの貧困」は大きな社会問題としてクローズアップされている。虐待通報件数は依然として増加傾向が続き、様々な理由で親も子も社会から孤立するなど子どもを取り巻く環境はより厳しくなっています。安心安全な生活環境、教育環境を支援する体制づくりが重要な課題となっています。児童養護施設の持っている設備、機能、専門性の地域展開がこれからの課題であり社会からの期待であると考えます。